

令和7年度 瑞穂市社会福祉大会



もしかしてあの子ども？ 知ってほしい ヤングケアラーのこと



私たちがすむ瑞穂市にも「まさかこの子が」と思うその子が、家で介護をしているかもしれせん。
親を介護していた子どもが、今、大人になって語ります。聞いてほしい、黙っていた子ども時代のこと。

令和7年
12月7日 日

講師

漫画「48歳で認知症になった母」
(KADOKAWA) 原作者
元ヤングケアラー。防衛大学卒業後、実業団アメフト選手として日本一となる。その後ケアマネジャーをしながら、買い物弱者問題を解決するための仕組み「えんじよの」を開発し特許を取得。現在はケアマネジャーをしながら主に「ヤングケアラーの支援」や「地域づくり」をテーマとした講演会やコンサートを行っている。



美齊津 康弘氏
(みさいづ やすひろ)

(メディア出演)

NHK首都圏ネットワーク、NHK長野、ABN長野朝日テレビ、NBS長野テレビ、SBC信越テレビ、SBCラジオ、FM軽井沢、レタスクラブ、ヨミドクター、ケアマネジメントオンライン、全国社会福祉協議会経営協会報、朝日新聞、産経新聞、読売新聞、中日新聞、信濃毎日新聞、軽井沢新聞、等

【主催】社会福祉法人瑞穂市社会福祉協議会

【後援】瑞穂市、瑞穂市教育委員会

赤い羽根共同募金配分金事業

プログラム

時間 13:00 開会 (12:30 受付開始)
13:10 表彰状・感謝状の贈呈
13:55 記念講演
15:40 閉会

会場 ココロかさなるCCNセンター
サンシャインホール
瑞穂市別府1283番地

対象 瑞穂市民および福祉に関心のあるかた

参加費
申込み
不要

著書「48歳で認知症になった母」KADOKAWA



いつも優しくて明るくて、自慢のお母さん。そんな母が48歳で若年性認知症を発症したあの日から、幸せだった毎日は徐々に崩れ始めました。学校から帰宅すると、徘徊する母を捜して連れ戻したり、うまくできない排泄の後始末をする日々。「僕がやらなきゃ家族が壊れる」と思い必死にこらえるも、自分のことすらわからなくなっている母に怒りと悲しみが湧いてきて…。11歳にしてヤングケアラーになった著者の衝撃の実体験

社会福祉法人瑞穂市社会福祉協議会
瑞穂市別府1283番地
ココロかさなるCCNセンター1階

☎ 327-8610 ✉ fes@mizuho-shakyo.org

先着順でお楽しみプレゼント♪ (なくなり次第終了)